うきうき豊野ひまわり園実行委員会

宇城市商工会　豊野地域活動委員会
委員長　伊藤 公紀（きみのり） さん(44)　（右から）
実行委員会委員長　里永 光司（こうし） さん(42)
副委員長　鋼鉄（はがね） 友幸（ともゆき） さん(52)

地域を元気に、人をつなぐ

地域を巻き込む豊野ひまわり園プロジェクト

次世代が育って活性化を続ける

「ゆめ・豊野塾！」
桑島　弘行（ひろゆき） さん(68)

豊野塾は、活力ある地域づくりのために緑川流域一斉清掃やカヌー教室などの活動を行う団体。活動はコロナ禍で難しいですが、このひまわり園では実行委員会の一員として、一緒に種まきや除草などを行っています。

結成は30年以上前。メンバーは高齢化し、里永さんたちはその子ども世代です。自分たちの活動で次の世代が育ってきたかなと思っています。

今回一緒に活動した子どもたちにとっても、自分がしたことに自信を持ってくれたらうれしいです。

今後は、秋のひまわりとして定着させ、もっとみんなが楽しめる園をつくっていきたいですね。

1　堆肥を混ぜて栄養たっぷりの土に　**2**　7月頃、前年の種からいくつか花を咲かせる　**3**　8月の種まき　**4**　除草作業　**5**　3面に広がるヒマワリ畑　**6**　子どもたちと「地域を元気に」の想いを共有　**7**　まだ暑い週末にはキッチンカーで涼を提供

復興を願うひまわり園

里永　始まりは、熊本地震とその後すぐの豪雨災害。皆さんの気持ちが沈み、なかなか気が休まらない日々が続き、なんとか元気にしたいと思ったのがきっかけでした。

伊藤　豊野はお店などはあまりないけど、畑はたくさんある。父の土地だったこの場所を使って、ひまわり園をやってみることに。何かで豊野をアピールしたいという気持ちもありました。

鋼鉄　同時に、経済も沈んでいた商工会の会員さんが少しでも潤えばという想いもありました。

地域の輪

伊藤　3年前、今年、と周囲の畑を借りて園を拡張。今年整備した土地は、木が生え、穴も空いていたんですが、地元の㈱奥村建設さんが自前の機械で整えてくれたんです。

里永　活動資金の大半は、来園者の募金。来園者の増加に対応するため、昨年、駐車場整備を隣町の㈱中央砕石工業さんに相談。すると「地域のための活動なら喜んで協力するばい」と社長自ら重機で整地までしてくださいました。

鋼鉄　普通に頼めば、この募金が何年分も必要ですよ。本当にありがたかった。

里永　そんな人たちがずっとつながったから、これだけの活動ができてきたんだと思います。とても自分たちだけでできることじゃないです。

想いが地域を巻き込む

鋼鉄　商工会と豊野塾で始めた活動。今ではＪＡ青壮年部・女性部やアグリパーク豊野、宇土法人会青年部、婦人会、豊野小、今年は豊野中も加わり、関わる団体が少しずつ増えています。

伊藤　子どもたちと一緒に活動するとアイデアがすごい。歌でも何でも作れちゃうんです。

鋼鉄　道端でニコニコと声も掛けてくれるようになったのもうれしい。下手に話し掛けられない時代ですからね。

里永　年配の人も畑作りのアドバイスをくれます。「今年はヒマワリはすっとかい」と声を掛けてもらえることも増えました。

伊藤　もっと周りを巻き込んで長く続けていきたいですね。